

東武鉄道杯少年サッカー大会規定

1. エントリー表及びメンバー表の提出ならびにユニフォームの確認について
 - (1) 大会開始前までにエントリー表を1部提出する。(提出時期・提出先は、大会運営委員会の計画による)
 - (2) 試合開始予定時刻50分前までにメンバー表を3部本部に提出する。
 - (3) 試合開始予定時刻40分前に登録された正・副2組のユニフォームを持参して、審判員によるチェックを受ける。(類似色の場合は、話し合い又は主審のトスとする。)
 - (4) 全選手は、メンバー表との照合、用具等の確認を試合開始10分前から受ける。
2. 競技規則について
以下の他は、公益財団法人日本サッカー協会競技規則2017/2018による。
 - (1) 試合は、8人の競技者によって行い、競技者のうち1人はゴールキーパーとする。試合中、8人未満になり選手の補充ができない場合は、そのまま続行する。但し、6人以上で試合成立とする。
 - (2) 退場者が出た場合は、交代要員の中から競技者を補充する。
 - (3) 競技のフィールドは68m×50mを基準とし、ゴールは5m×2.15mとする。使用球は4号公認ボールとする。
 - (4) キックオフから直接得点することはできない。キックオフからのボールが直接相手ゴールに入った場合は相手チームのゴールキックで再開する。
 - (5) PK方式においては、両チーム3人ずつの競技者がキックを行ったのち、両チームの得点と同じ場合は、決するまで行う。
3. 選手交代について
登録選手内で自由な交代とする。交代の際、主審・第4の審判員の承認を得ることなく、インプレー中・アウトオブプレー中に関わらず、交代ゾーンを使用して行うことができる。但し、ゴールキーパーの交代は、アウトオブプレーのときに主審の承認を得て行うこと。
4. ベンチについて
 - (1) ベンチに入れる者は、メンバー登録選手20人と監督・コーチ5名以内とする。
 - (2) 組合せの若番号がピッチに向かって左側ベンチ、後番号が右側ベンチとする。
 - (3) ベンチからの指示等は、指導者としての自覚を持つこと。(戦術的指示を伝えることができるのは、テクニカルエリア又は準ずるエリア内でその都度1名とする。)
 - (4) 退席を命じられた指導者は、次の1試合はベンチに入れない。
 - (5) ベンチでの携帯電話は禁止する。
5. 警告・退場について
退場を命じられた選手は、次の1試合は出場できない。警告を累積2回受けた選手も同様とする。
6. 飲水タイムについては必要に応じて設ける。
7. 審判は全ての試合をチーム帯同の審判員が行う。(4人制審判とし、主審・副審・第4の審判員で行う)
8. その他
 - (1) 西部・東部ブロックに幹事を置き、具体的な運営についてブロック内参加チームに周知徹底すること。
 - (2) 試合前のアップは指定場所で行う事、ハーフタイム中のグラウンド内での練習は禁止。
 - (3) 指定された場所以外での喫煙は禁止、ゴミは全てチームの責任で持ち帰ること。
9. 要項・規定が守られない場合は大会幹事会で審議する。